

フォンス・フローリス古楽院

2020年度 講座案内



講座の成果を披露します! フォンス・フローリス発表会

2021年2月11日(木・祝)

会場など詳細は後日ウェブサイトでお知らせいたします。

関西、名古屋でも歌いましょう!

フォンス・フローリス古楽院は東京のほか関西、名古屋でも開講しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

SNSにて古楽院やコンサートの情報を発信中!

twitter: @fons_floris / facebook: fonsfloris

フォンス・フローリス古楽院

院長: 花井哲郎

東京都目黒区中町2-37-24(東急東横線「祐天寺」駅から徒歩8分)

ウェブサイト <http://www.fonsfloris.com/k/>



主催: フォンス・フローリス



フォンス・フローリス古楽院は、西欧中世・ルネサンス・バロック時代の音楽を、主に歌のアンサンブルを中心として実践する人たちのための学びの場です。

古い音楽にふさわしい発声の基本、記譜法、声と声によるアンサンブル、言語の感覚、音楽史の知識、古い音楽の持つ深い霊性と高貴な精神性を、様々な楽曲を通して共に楽しみながら学んでいきましょう。

講師プロフィール



花井哲郎

古楽演奏家。1996年以来ア・カペラの声楽アンサンブルである「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」の音楽監督としてグレゴリオ聖歌とルネサンス音楽の演奏を続ける。CDアルバムではジョスカン・デ・プレのミサ曲全集シリーズを好評リリース中。また声楽と器楽による「古楽アンサンブル コントラポント」のリーダーとして、主にバロック時代の宗教音楽演奏に取り組み、2016年には Ottava Records レーベル第1弾としてモンテヴェルディ「聖母の夕べの祈り」のライブ録音をリリースする。2015年より長野県の新井村で「はらむら古楽祭」を企画開催、指揮者またオルガン、チェンバロ奏者として演奏会を行う。フランス・バロック宗教音楽を専門とする「合唱団フォンス・フローリス」指揮者、また様々な古楽アンサンブルの指揮、指導を行う。「フォンス・フローリス古楽院」院長、国立音楽大学講師。



渡辺研一郎

1990年生まれ。早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。東京藝術大学院音楽研究科修士課程音楽学専攻修了。グレゴリオ聖歌の初期の記譜法である「譜線無しネウマ」の研究論文により修士号(音楽)取得。ピアノを小倉郁子、志村泉、林苑子、E. D. ヴァイスハールら、クラヴィコードを高橋尚子、合唱指導法を笠置英史、グレゴリオ聖歌やポリフォニーといった中世・ルネサンス期の教会音楽を花井哲郎、声楽を花井尚美の各氏に師事。アルベルニューгентコール、立教トリニティコール、行徳混声合唱団、常任ピアニスト。日本合唱協会(室内合唱団「日唱」)ピアニスト。ヴォーカル・アンサンブル カペラメンバー。日本グレゴリオ聖歌学会員。



櫻井元希

広島大学教育学部第四類音楽文化系コース、東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。同大学院古楽科をバロック声楽で修了。声楽を枝川一也、益田遙、河野克典、寺谷千枝子、櫻田亮の各氏に、バロック声楽を野々下由香里氏に、合唱指揮をアレクサンダー・ナジ氏に、指揮を今村能氏に、古楽演奏を花井哲郎氏に、ヴォイストレーニングを Vocology in Practice の小久保よしあき氏に師事。これまでに、ヘンデル「メサイア」バッハ「口短調ミサ」「教会カンタータ」「マタイ受難曲」モーツァルト「レクイエム」などのソリストを務める。Salicus Kammerchor、Ensemble Salicus を主宰。フォンス・フローリス古楽院講師。東京藝術大学バッハカンタータクラブ2013-2015年度演奏委員長。ヴォーカル・アンサンブル アラミレ、リーダー。The Cygnus Vocal Octet、ジャバンチェンパークワイア、ヴォーカル・アンサンブル カペラ、古楽アンサンブル コントラポント等に所属。

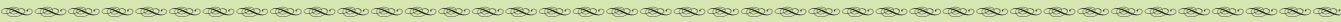


Photo by Sekido

関根敏子

音楽学。NHK-FM番組「古楽の楽しみ」パーソナリティ。桐朋学園大学音楽学部作曲理論学科(音楽学)卒業後、フランス政府給費留学生としてフランス国立パリ高等音楽院(パリ・コンセルヴァトワール)に学ぶ。またチェンバロをスコット・ロス、トン・コーブマン他の各氏に師事。帰国後、桐朋学園大学・早稲田大学・立教大学・昭和音楽大学・東洋大学講師を歴任。フォンス・フローリス古楽院講師、音楽文献目録委員会事務局長。北とびあ国際音楽祭アドバイザー。主要な著訳書:『古楽演奏の現在』(監修)、『西洋の音楽と社会:後期バロック』(監訳、2巻)『ドメニコ・スカルラッティ』[いずれも音楽之友社]、A. ヘリオット著『カストラートの世界』(国書刊行会、共訳)、ドメル・ディエニー著『演奏家のための和声分析と解釈:フォーレ』(シンフォニア、翻訳)、フランス古地図散歩(連載、之潮)、リスト著「ショパン」(訳)他、多数。



辻康介

歌手、ソルミゼーション講師。東京・名古屋・仙台・大阪で定期講座開講、聖グレゴリオの家講師。日本合唱指揮者協会、日本合唱連盟、日本コダイ協会、日本音楽学会関東支部、愛知県立芸術大学ソルフェージュ科教員研究会、高校教員の教育研究会などに講師として、日本音楽学会と日本音楽教育学会ではパネルディスカッションの討論者として招かれた。国立音楽大学楽理科卒、同大学研究所研修課程修了、6年ほどイタリアに留学、ミラノ市立音楽院バロック声楽科修士課程修了。声楽を牧野正人、クラウディオ・カヴィーナ、ロベルト・バルコーニらに、ルネサンス・ポリフォニーの演奏法と古楽の演奏理論をディエゴ・フラテッリらに師事。これまで、様々な楽団を立ち上げ、ネーモー・コンチェルタート nemo concertato ではCD+BOOK「おとなのための俊太郎」(アルテスパブリッシング)をリリース。モンテヴェルディ「オルフェオ」(宮城聡演出)や「オルフェオの冥界下り」(安田登構成・演出)のオルフェオ役を歌う。都市楽師プロジェクトや青山学院大学鳥越けい子研究室のサウンドスケープ企画で歌う。合唱団Ogmios指揮者、聖心女子大学グリークラブ常任指揮者。



夏山美加恵

名古屋市立菊里高校音楽科卒業後、エリザベト音楽大学宗教音楽学科にて故鈴木仁氏に声楽を師事。第6回山梨古楽コンクール第3位入賞。同年オランダに渡り、ブラバント音楽院にて古楽声楽アンサンブルの訓練を受ける。その後デン・ハーグ王立音楽院古楽科古楽声楽コースに入学。音楽院卒業後、同校修士課程修了。王立音楽院在学中より中世音楽への意欲が高まり、欧州における著名音楽家による中世音楽のクラスや講習会を受講し、さらに研鑽を積む。オランダ国内外の多くの古楽アンサンブルと共演し、ユトレヒト、ブルージュ、ベルリン等の古楽祭にも多数参加。また12年間にわたってオランダのカトリック教会のカントルとして勤務した経験を持つ。現在もソロやアンサンブル歌手として中世からバロック時代の古楽作品、さらに現代音楽にいたるまで幅広いレパートリーで演奏活動を行う傍ら、古楽声楽アンサンブルの指導にも積極的に取り組んでいる。ヴォーカル・アンサンブル カペラ メンバー。



富本泰成

東京芸術大学音楽学部声楽科を卒業。声楽を菅英三子、上杉清仁、川上茂、赤沢啓子の各氏に師事。大学卒業後は発声という運動をより科学的・解剖学的な視点から考えるために、さまざまなメソッドから学ぶ。Vocology in Practice の小久保よしあき氏、Estill Voice Training の稲幸恵氏、ヴォイトレ・マスター®メソッドの Masayo Yamashita 氏に発声を師事。古楽演奏を花井哲郎氏、アカペラ・アンサンブルのハーモニー理論を犬飼将博氏に師事。2009年に創立された合唱団、harmonia ensemble の団員として、2011年に行われた第40回トゥール国際合唱コンクール(フランス)にてグランプリを受賞、以降、2012年ヨーロッパグランプリ(スロヴェニア)、2013年南フランス国際合唱フェスティバル(フランス)、2014年第10回世界合唱シンポジウム(韓国)などに出場し、数多くの合唱経験を積む。その経験からアカペラのアンサンブルの演奏活動に特に力を入れており、「Vocal Ensemble 歌譜喜(混声)」「女声アンサンブル八重桜(女声)」「emulsion(男声)」の3つの声楽アンサンブルを主宰している。ヴォーカル・アンサンブル カペラ、古楽アンサンブル コントラポント、Salicus Kammerchor、Ensemble Salicus、vocalconsort initium、ENSEMBLE XENOS、メンバー。東京混声合唱団レジデントメンバー。

講座案内

いずれの講座も先着順に受け付け、定員に達し次第、募集を締め切ります。

通年の入門講座と歌唱実践講座は2021年2月11日(木・祝)のフォンス・フローリス発表会で演奏発表します。
(集中講座、発声講座、音楽史講義は発表なし)

*春期集中講座

初めてのグレゴリオ聖歌

講師: 花井哲郎(2月)
渡辺研一郎(3月)

Gs

土曜 10:00-13:00 2月29日／3月21日
各1回 受講料 5,000円 (学生:3,500円)

ミサや聖務日課といったキリスト教の典礼のための音楽として、非常に長い歴史を持つグレゴリオ聖歌。旋律が記録されるようになってから既に1000年以上が経過しており、中世・ルネサンス期のポリフォニー(多声音楽)や、その後現代に至るまでの音楽や作曲家にも影響を与えている音楽です。この講座は、グレゴリオ聖歌が初めてという方向けの講座ですが、興味のある方ならどなたでも受講いただけます。また、通年講座「グレゴリオ聖歌入門」の導入ともなるでしょう。

*この2講座は連続して受講されることをお勧めします。ルネサンス・ポリフォニーの理解にグレゴリオ聖歌は欠かせません。もちろんどちらか1つだけの受講も可能です。2月と3月でそれぞれほぼ同内容で全くの初心者向けですが、講師が違うためその切り口は異なってきます。どちらかの月だけで構いませんが、両月の受講で基礎をしっかりと身につけるといこともできます。
☆両講座とも受講の場合受講料は各月とも2講座で8,000円(学生:5,000円)

初めての中世音楽

講師:夏山美加恵

Ms

3月8日(日)13:00-17:00
受講料5,000円(学生2,500円)

12世紀から14世紀の中世時代のフランスで歌がどのように歌われ発展していったかを時代を追って紹介していきます。北フランスのトゥルヴェール、またその起源となった南フランスのトゥルバドゥールのお話や歴史的背景も交えながら、その時代の恋愛歌曲の変遷をたどります。美しい写本を見ながら歌ってみましょう。歌の経験のある方で中世音楽が大好き、または中世に興味はあるけれども初めてという方もどうぞ。通年講座「中世の音楽を歌う」への導入編でもありますが、この講座のみの受講も可能です。

初めてのルネサンス音楽

講師: 花井哲郎(2月)
櫻井元希(3月)

Rs

土曜 14:00-17:00 2月29日／3月21日
各1回 受講料 5,000円 (学生:3,500円)

15～16世紀の音楽は、オリジナルの写本ではすべて計量記譜法によって記されています。現代の楽譜とは異なっていて、その解読はルネサンス音楽の理解に欠かせません。この集中講座では、計量記譜法の基礎から始めて、簡単なポリフォニーの楽曲を大判楽譜「クワイヤブック」を使って歌うまでを目指します。合唱の心得がある方なら、どなたでも受講できます。

ソルミゼーション入門

講師: 辻康介

S1

日曜14:00-17:00
4月26日 5月24日 6月28日
全3回 受講料 15,000円(学生:10,000円)

多くの聖歌を覚えるのに修道士たちはかつて口伝に頼っていました。しかしその能率の悪さに問題を感じた音楽教育担当者グイード・ダレツォは、一つの賛歌を覚えることを提案しました。これが元祖「ドレミの歌」で、これを覚えるとドレミファソラという「六つ」の音階を把握でき、聖歌を正確に自力で歌えるようになるということです。この音階には「シ」がありませんでした。それでもデュファイやジョスカンやはもちろん、モンテヴェルディやバッハもこの六音階名で歌っていました。六音階名唱ソルミゼーションを身につけて古楽のレパートリーを歌い直してみると、当時の人たちがどのように一つ一つの旋律を解釈していたのかが分かり、古楽の旋律の美しさや楽しさを再発見できます。

*秋期集中講座

ソルミゼーション中級: ポリフォニーの旋法

講師: 辻康介

S2

日曜14:00-17:00
9月6日 9月27日 10月18日
全3回 受講料 15,000円(学生:10,000円)

ヨーロッパ音楽の理論的基礎となっている音階や旋法は、修道院という音楽実践の現場で、修道士たちが自分たちが既に覚えている聖歌の調べを分類するために生まれました。この「現場の」音楽理論史においては、音楽が先か?理論が先か?といえは、まずは音楽だったのです。「六音階名唱」が発案されたのも、この方が音楽にじっくりくるからです。一方ポリフォニー作曲家たちは、作曲の手順として、はじめに歌詞があり、次にこれにふさわしい旋法を選びました。この講座ではまず歌詞に向かい合い、次に旋法の理論を紐解き、この基礎であるソルミゼーションで歌ってみます。例えばパレストリーナの音楽にも8つ、あるいは12の旋法の違いがはっきりあり、それが雄弁に言葉を語っています。春の入門講座と併せての受講をおすすめしますが、この講座だけの受講も可能です。

☆ソルミゼーション春秋両講座(S1+2)受講の場合の受講料
全6回 25,000円(学生:16,000円)

*通年の入門講座

グレゴリオ聖歌入門

講師: 渡辺研一郎

Gn

土曜10:00-12:30
4月18日 5月9日 6月13日 7月4日
9月5日 10月3日 10月31日 11月28日
2021年1月9日 2月6日 発表会: 2月11日

全10回と発表会
受講料 30,000円(学生 : 20,000円)

グレゴリオ聖歌は初めてという方、興味はあるけれど学んだことは無いという方、など初心者のための講座です。「グレゴリオ聖歌」と一口に言っても、典礼中の場面によって様々な種類の聖歌があります。前期(初め4回)では、比較的シンプルで歌いやすい「アンティフォナ」や、ミサ通常唱と呼ばれる「キリエ」「グロリア」「クレド」「サンクトゥス」「アニュス・デイ」、などを扱います。それらの聖歌を少しずつ歌いながら、「教会旋法」についても解説し、聖歌の旋律と教会旋法がどのように関わっているのか、理解を深めていきます。後期(後6回)では、2月の発表会で歌う聖歌を中心に扱います。後期は特に、10～11世紀頃にスイスのザンクト・ガレン修道院で書かれたグレゴリオ聖歌の楽譜、および「ネウマ」と呼ばれる記譜法についても理解を深めながら、聖歌の演奏法を学びます。

ルネサンス音楽入門

講師: 櫻井元希

Rn

土曜13:30-16:00
4月18日 5月9日 6月13日 7月4日
9月5日 10月3日 10月31日 11月28日
2021年1月9日 2月6日 発表会: 2月11日

全10回と発表会
受講料 30,000円(学生 : 20,000円)

ルネサンス音楽を、当時の楽譜で使われていた白色計量記譜法で歌う、初心者のための入門講座です。合唱団などでルネサンスの音楽は歌ったことはあるが、オリジナルの楽譜は使ったことのない方、古い音楽のア・カペラのアンサンブルは初めての方など歓迎です。教材としてジョスカン・デ・プレJosquin des Prez(ca.1450/55?-1521)のモテット「めでたし海の星」"Ave maris stella"を扱い、必要に応じて短い二重唱やカノンなども取り入れながら、楽しく白色計量記譜法の音楽に親しんでいきます。ルネサンス・ポリフォニーの歌いまわしは、グレゴリオ聖歌の歌いまわしを勉強することでより理解が深まりますので、グレゴリオ聖歌入門(Gn)を併せて受講されることをお勧めします。歌唱・合唱などの経験のある方ならどなたでも受講できます。

☆入門講座両方受講される場合 (Gn+Rn) 受講料
2講座で50,000円(学生:30,000円)

*通年の歌唱実践講座



「R1 ルネサンス音楽1」で使用する計量記譜

グレゴリオ聖歌演奏法

講師: 花井哲郎

G

土曜10:00-12:15
3月28日 5月9日 6月13日 7月4日
9月5日 10月3日 11月7日 12月5日
2021年1月16日 1月30日 発表会: 2月11日

全10回と発表会
受講料 35,000円(学生: 22,000円)

今年度は教会暦に沿って主な大祝日のミサ固有唱を練習します。クリスマス、復活祭、聖霊降臨などのよく知られた聖歌と共に、現代ではあまり歌われなくなった続唱Sequentiaも取り上げます。折に触れて通常唱も加えてミサの流れで通して歌う、ということもしていく予定です。入門講座を終えた方が対象ですが、少しだけかじったことがある、といった方も歓迎します。

中世の音楽

講師: 夏山美加恵

M

日曜14:00-17:00
4月19日 5月10日 6月21日 7月19日
8月9日 9月13日 10月4日
2021年1月31日 2月7日 発表会: 2月11日

全9回と発表会
受講料 41,000円(学生: 29,000円)

今年も9回にわたって中世音楽、特に12世紀から14世紀までの北フランスの吟遊詩人のシャンソンの発展を学びます。当時の吟遊詩人たちの思いを心に抱きながら、多声作品をオリジナルの写本をもとに歌いましょう。その後に続くブルゴーニュ楽派やフランドル楽派へのルーツを理解することもできます。中世の歌が好きな方にお勧めです。また、ハープ、打楽器、弦楽器などの楽器の持ち込みも歓迎です。入門講座を受けられなかった方も受講できます。練習予定曲: トゥルヴェール歌曲、アルス・アンティクワ(モンペリエ写本)、アルス・ノーヴァ(レスキュレルやマジョー)など

ルネサンス音楽1 ジョスカンのミサ曲を歌う

講師: 花井哲郎

R1

土曜13:00-16:00
3月28日 5月9日 6月13日 7月4日
9月5日 10月3日 11月7日 12月5日
2021年1月16日 1月30日 発表会: 2月11日

全10回と発表会
受講料 45,000円(学生: 32,000円)

2021年はルネサンス・フランドルの巨匠ジョスカン・デ・プレ Josquin des Prez(ca.1450/55?-1521)没後500年を記念します。この講座は1年後ジョスカン・イヤーの発表会目指して、ジョスカンの聖母ミサ Missa de beata virgine を学びます。主にキリエとグロリア、さらに余裕があればサンクトゥス、アニュス・デイにも進めればと思います。計量記譜法によるクワイヤブックを用い、少人数による美しいアンサンブル演奏の実現を目指します。記譜法の基本を習得された方が対象ですが初めての方で、受講ご希望の方は、春期講習をあらかじめ受講されるか、あるいは事前個人レッスンをお申し込みください。

ルネサンス音楽2 フランドルの対位法を極める

講師: 花井哲郎

R2

土曜13:00-16:00
4月18日 5月23日 6月20日 7月18日
8月1日 10月17日 11月28日 12月12日
2021年1月23日 2月6日 発表会: 2月11日

全10回と発表会
受講料 45,000円(学生: 32,000円)

15世紀フランドル出身の音楽家たちはいろいろな形態のカノンなどを駆使して、対位的に複雑な作りの多声音楽ポリフォニー楽曲を作り上げました。しかしながら巨匠による作品はそのような複雑さを全く感じさせないほど自然で美しい音楽となるのが不思議です。なかでもジャン・ド(あるいはヨハネス)・オケゲム Jean de Ockeghem(ca. 1425頃 - 1497)はその筆頭で、続く作曲家たちの模範ともなりました。この講座ではオケゲムのミサ・プロラツィオーヌム Missa Prolationum を教材としてその構造を学び、さらに美しく歌えるように練習していきます。知的な理解を深めながらルネサンス音楽の緻密なアンサンブルを目指します。継続2年目の講座で、昨年のキリエとグロリアに続き、今年度はクレド以降に取り組みます。今年度から参加ご希望の方はご相談ください。

*発声講座

合唱のための発声法・発声理論

講師: 富本泰成

V

レッスン時間帯: 火曜 13:00-21:00、あるいは金曜 13:00-21:00(ご希望の曜日、時間を選べます)
火曜日 4月14日 5月12日 6月16日 7月14日 8月4日
金曜日 4月24日 5月29日 6月19日 7月3日 8月7日
1回50分のレッスンです。2020年前期で5回のレッスンを行い、継続しての受講ご希望の場合は後期の受付を行います。後期日程は追ってご相談します。

受講料(全5回/1人につき) 個人レッスン: 40,000円
グループ・レッスン: 2人の場合: 35,000円 3人の場合: 30,000円

歌を歌う人にとって発声の悩みはつきものです。この講座ではヴォーカル・アンサンブル カペラをはじめとして、複数の声楽アンサンブルでカウンターテナーからバスの音域まで使って演奏活動を行なっている講師が、声のお悩みの原因を「呼吸」「声帯の動き」「共鳴」の三つの要素から細かく探ります。全5回の個人レッスンで、やわらかくも芯のある「合う」ということを強く実感できるよう進めていきます。

る、合唱やアンサンブルに適した発声を探していきます。また、共鳴腔を自在に扱い、様々な音色の声を出せるようにトレーニングを積みましょう。お一人でのご受講は充実したボイストレーニングを行えますし、数名のグループでのご受講は音色面を中心にアプローチし、周りの人と声が「合う」ということを強く実感できるよう進めていきます。

*音楽史講義

音楽史講義「ジョスカンの生涯と作品 その二」 講師: 花井哲郎

土曜10:00-12:00

4月18日 5月23日 6月20日 7月18日 8月1日 10月17日 11月28日 12月12日
2020年1月23日 2月6日

全8回 受講料 25,000円(学生:18,000円)

2021年に没後500年を迎えるフランドルの巨匠ジョスカン・デ・プレJosquin des Prez (ca.1450/55?-1521) の生涯をたどりながら、その全作品を学ぶ講義の2年目です。ジョスカン最盛期の傑作の数々が登場します。ヴォーカル・アンサンブル カベラはジョスカンの宗教作品の大部分をこれまでに演奏していますが、その録音なども聴きながら、オリジナルの写本を参照し、また歌詞を読み解いて、各曲の面白さ、聞きどころ、作品の背景などを解説していきます。毎回必要な資料を配付します。



講座「シャルパンティエの生涯と作品」 講師: 関根敏子

土曜 17:00-19:00 4月18日 5月9日 7月4日 9月5日 10月3日 11月7日

受講料 1回ごと 4,000円(学生:2,800円) 全6回通し 20,000円(学生:14,000円)

NHK FM「古楽の楽しみ」でおなじみの関根先生が、西洋音楽史のなかでもとりわけ特徴的な「フランス・バロック音楽」の魅力あふれる世界について、フランス音楽界の旬な話題なども織り交ぜながらお話す楽しい連続講座です！本年度はフランス・バロックを代表する作曲家の一人、マルカントワヌ・シャルパンティエ Marc-Antoine Charpentier (1643-1704) に焦点をあて、その生涯をたどりながらさまざまな作品について学びます。映像を見たり音源を聴いたりしながら、その魅力に迫ります。きっと知られざる名曲に出会えますよ！

各回のテーマとキーワード

4月 イタリア留学
フランスでは珍しいミサ曲やオラトリオ

9月 王太子
ルイ14世の長男 宮廷との関係 礼拝音楽 牧歌劇

5月 モリエールと劇音楽
リュリと仲違いしたモリエール 劇のための音楽

10月 修道院と教会
イエズス会の教会 サント＝シャベル 大規模な宗教音楽 オラトリオ

7月 ギーズ家
由緒ある貴族 マレ地区の館での音楽会

11月 オルレアン公フィリップ2世
ルイ14世の甥にして後の摂政 イタリア音楽愛好家 パレ・ロワイヤル
オペラ「メデ」 テ・デウム

☆昨年までと異なり、開始時間が17:00に変更になっていますのでご注意ください！



*夏期合宿

8月8日(土)14:00集合～10日(月・祝)15:00解散

受講料 20,000円 食事・宿泊費 実費(2泊3日で約20,000円)

長野県原村の静かで美しい森の中にある、響きの良い木造の教会(ハヶ岳中央高原キリスト教会)で、グレゴリオ聖歌とルネサンスのポリフォニーを学び歌う3日間の合宿を行います。都会の喧噪を離れ、じっくりと音楽と向かい合います。今年は単旋律聖歌のほかにジョスカン・デ・プレの美しい聖母モテットを練習します。主に「救い主の母・めでたし天の元后」"Alma Redemptoris/Ave Regina"を取り上げる予定ですが、リクエストして頂くこともできます。1日の講習の最後はグレゴリオ聖歌の「終課」を歌ってしめくります。宿泊は教会近くのペンションで、夜の懇親会では受講生と講師も交えて楽しい親睦の時を持ちます。宿泊は2人部屋か3人部屋ですが、ご希望の方には割増料金にて個室も用意できます。

8月1日(土)16:30-19:00に合宿で扱う曲の事前練習を行います。合宿参加に必須ではありませんが、ご都合のつく方は是非ご参加ください。(受講料4,000円)



*特別ワークショップ

「計量記譜法の理論と実践」 講師: 花井哲郎

毎月2回程度 火曜 10:00-12:30 初回:3月17日

受講料 1回 2000円 (入会金の必要はありません)

ルネサンス音楽の理解と演奏に欠かせない計量記譜法について、その理論を学びながら様々な作品を歌っていくワークショップの3年目です。Karin Paulsmeier 著 Notationskunde 15. und 16. Jahrhundertに即して進めますが、今年はいよいよ最後の部分、16世紀後半におこった記譜法の変容について学び、完結します。必ずしもこのドイツ語の著書を読む必要はありません。本をお持ちでない方も参加できるよう、毎回楽譜と資料を配付します。本は Amazonで約9,500円、古楽院での購入ご希望の方はお申し出ください。日程連絡等のため受講登録をして頂き、その上で参加した各回ごとの精算となります。年度の途中からの参加も可能です。

*音楽家のための特別講座

古楽院講座とは別に花井哲郎による音楽家のための講座があります。音楽大学学生、卒業生あるいは古楽に関心のある音楽家の方で、興味のある方は古楽院までお問い合わせください。

計歌会

古楽演奏家、あるいは古楽に関心のある音楽家のための講座です。ルネサンス時代のさまざまな音楽を計量記譜の楽譜で歌っています。

FF古楽道場

主に音楽大学声楽科学生、あるいは卒業して間もない若手音楽家のための講座です。グレゴリオ聖歌を学び、ルネサンス時代のさまざまな音楽を計量記譜の楽譜で歌っています。

日程一覧(2020年2月～2021年2月)

講座・講義名	日時		回数	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
Gs: 初めてのグレゴリオ聖歌	土	10:00-13:00	2	29	21											
Rs: 初めてのルネサンス音楽	土	14:00-17:00	2	29	21											
Ms: 初めての中世音楽	日	13:00-17:00	1		8											
S1: ソルミゼーション入門	日	14:00-17:00	3			26	24	28								
S2: ソルミゼーション中級	日	14:00-17:00	3								6 27	18				
Gn: グレゴリオ聖歌入門	土	10:00-12:30	10			18	9	13	4		5	3 31	28		9	6
Rn: ルネサンス音楽入門	土	13:30-16:00	10			18	9	13	4		5	3 31	28		9	6
G: グレゴリオ聖歌演奏法	土	10:00-12:15	10		28		9	13	4		5	3	7	5	16 30	
M: 中世の音楽	日	14:00-17:00	9			19	10	21	19	9	13	4			31	7
R1: ルネサンス音楽1	土	13:00-16:00	10		28		9	13	4		5	3	7	5	16 30	
R2: ルネサンス音楽2	土	13:00-16:00	10			18	23	20	18	1		17	28	12	23	6
L: 音楽史講義 「ジョスカンの生涯と作品 その二」	土	10:00-12:00	10			18	23	20	18	1		17	28	12	23	6
FB: 講座 「シャルパンティエの生涯と作品」	土	17:00-19:00	6			18	9		4		5	3	7			
V:合唱のための発声法	火	13:00-21:00	5			14	12	16	14	4						
	金	13:00-21:00	5			24	29	19	3	7						
夏期合宿	8月1日(事前練習)、8-10日															

*受講料

- ※ 入会金 受講にあたり入会金3,000円を申し受けます。東京、名古屋、関西いずれかで初回のみで、その後別の講座を受講する際に再度お支払いいただく必要はありません。
- ※ 春季集中講座については入会金の必要はありません。また春季集中講座Gs, Rs, Ms受講の方は、通年の本講座の受講に際して、入会金免除となります。
- ※ 受講料は4回までの分割納入も可能です。(詳細はお問い合わせください。)

*複数受講の割引制度

- ※ セット割引 通年の歌唱実践講座(G, M, R1, R2)を複数受講される場合は2講座目から学生料金で受講できます!
- ※ 夫婦割引 通年の歌唱実践講座に限らず、どの講座でもお二人合わせて、一般料金+学生料金で受講できます!(さらに複数受講の場合は残りはすべて学生料金で!)

*講座内容についてのご質問など、お気軽にお問い合わせ下さい

下記のうち、いずれかの方法でお申し込みください。
1.[2020年度 東京講座]のページ上の専用フォームからお申込 <http://www.fonsfloris.com/k/2020tokyo.html>
2. メールによるお申込:次ページ申込書記載の必要事項をご記入の上、メール送信でお申込
3. 次ページの申込書をご記入の上、古楽院事務局宛提出(または郵送・FAX送信)によるお申込
※ヴォーカル・アンサンブル カペラ1月公演のコンサート会場でも受け付けます!

[申し込み・お問い合わせ先] tel: 070-6940-2070 fax: 03-6869-6568 e-mail: kogakuin@fonsfloris.com
申込み受付開始: 2020年1月5日

フォンス・フロリス古楽院 2020年度東京講座申し込み書

申し込みにあたっては、下の申し込み必要事項を、ファックス・電子メール・電話などでおしらせください。折り返し申し込み受付の確認と、受講料の支払い方法や会場など詳細をご連絡いたします。
講座の会場は古楽院(東急東横線「祐天寺」駅から 徒歩8分)のほか、えびらホール(東急「旗の台」駅から 徒歩6分)、または目黒区の公共施設の場合もあります。会場地図およびアクセス方法については講座お申込み後にお知らせします。
定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。本申し込み書は、控えとしてお手元に保管をお願いいたします。

申し込み・お問い合わせ先 岩下 tel: 070-6940-2070 fax: 03-6869-6568 e-mail: kogakuin@fonsfloris.com

希望される講座/講義および内容をチェックして下さい 申し込み日 2020年 ____月____日
古楽院講座の受講は ☐初めて ☐過去に受講経験あり (どちらかにチェックしてください)

Gs: 初めてのグレゴリオ聖歌 ☐ 2月 ☐ 3月
Rs: 初めてのルネサンス音楽 ☐ 2月 ☐ 3月 (希望パート ☐ ソプラノ ☐ アルト ☐ テノール ☐ バス)
☐ Ms: 初めての中世音楽
☐ S1: ソルミゼーション入門
☐ S2: ソルミゼーション中級
☐ Gn: グレゴリオ聖歌入門
☐ Rn: ルネサンス音楽入門 (希望パート ☐ ソプラノ ☐ アルト ☐ テノール ☐ バス)
☐ G: グレゴリオ聖歌演奏法
☐ M: 中世の音楽
☐ R1: ルネサンス音楽1 (希望パート ☐ ソプラノ ☐ アルト ☐ テノール ☐ バス)
☐ R2: ルネサンス音楽2 (希望パート ☐ ソプラノ ☐ アルト ☐ テノール ☐ バス)
☐ L: 音楽史講義 「ジョスカンの生涯と作品 その二」
☐ FB: 講座「シャルパンティエの生涯と作品」
☐ V 合唱のための発声法 ☐ グループレッスン希望(☐ 2人 / ☐ 3人)備考欄に氏名をご記入ください ☐ 個人レッスン希望 第一希望 ☐ 火 / ☐ 金 希望時間帯 ~ (各曜日の時間帯でご記入ください) 第一希望 ☐ 火 / ☐ 金 希望時間帯 ~ (各曜日の時間帯でご記入ください)
☐ 特別ワークショップ「計量記譜法の理論と実践」(☐ テキスト購入希望)
☐ 夏期合宿 (☐ 事前練習 ☐ 個室希望)

お名前 _____

ご住所 〒 _____

_____e-mail _____

電話番号 _____ファックス _____

備考欄 (初めて受講される方は簡単に音楽歴を記入してください。)

